

Minami Kyushu University Syllabus					
シラバス年度	2011	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	自然緑地計画論 [Natural Open Space Planning]				
科目コード	710040	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	平岡 直樹				
授業概要	特に空間を創造する者として、また一人の市民として関わっていくことの出来る身近な自然緑地を中心として、その歴史と利用の実態、政策、諸外国の事例、及びそれらを有効に長く利用していくための理念と計画技術について考える。				
授業計画	第1回 講義の内容、位置づけ、目的等の説明 第2回 自然系緑地の領域 自然系緑地の領域の全体像の把握 第3回 空間特性(立地条件)から見た自然系緑地の分類 自然系緑地の分類と写真による紹介 第4回 自然緑地見学会 近隣の自然緑地の見学会 第5回 生態系から見た自然系緑地の分類 自然系緑地の分類と写真による紹介 第6回 地球環境問題を背景とした自然緑地の位置付け 自然緑地を巡る時代の潮流 第7回 日本の自然緑地の現状 自然緑地の概要、問題点を考察 第8回 自然緑地に関わる施策の概要 法体系と諸外国の制度、条約 環境アセスメント 第9回 自然公園の特徴、問題点を考察 第10回 森林の特徴、問題点を考察 第11回 農村、里山の特徴、問題点を考察 第12回 河川、海、湖沼の特徴、問題点を考察 第13回 帰化植物の現状と問題点を考察 第14回 自然緑地と利用 人間の利用と自然保護の関わりを考察 第15回 自然緑地と地域社会				
授業の到達目標	自然緑地が、自然環境や社会にどんな役割を果たし、どんな問題点を抱えているかを考える力を身につけ、さらにそれぞれが自らの自然観もより豊かにして行く。				
評価方法	授業中の小テスト及び期末試験で評価する。				
テキスト	森山、平岡他『ランドスケープアーキテクチャーの起点』ぎょうせい、2007 他				
参考書	①環境省編『平成16年度環境白書 地域社会から始まる持続可能な社会への変革』ぎょうせい、2005 ②石川徹也『日本の自然保護 尾瀬から白保、そして21世紀へ』(平凡社新書)平凡社、2001				
備考					